

CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-025



■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建 (新築) 2016年版

■バージョン: CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

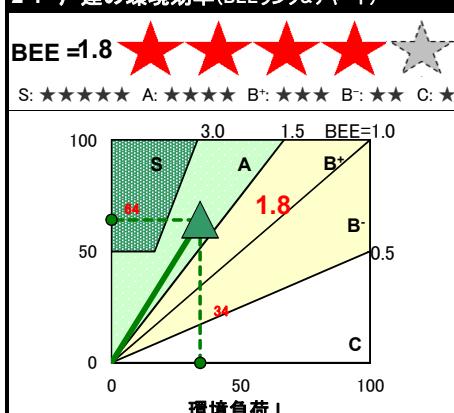
1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年8月	竣工	持ち込み家電等	仮
建設地	金沢区釜利谷東三丁目	確定	外構の仕様	確定
用途地域	第一種低層居住専用地域			
省エネルギー地域区分	6 地域			
構造・構法	鉄骨造			
階数	2	確定		
敷地面積	178 m ²	確定		
建築面積	62 m ²	確定		
延床面積	108 m ²	確定		
世帯人数	2	確定		

1-2 外観



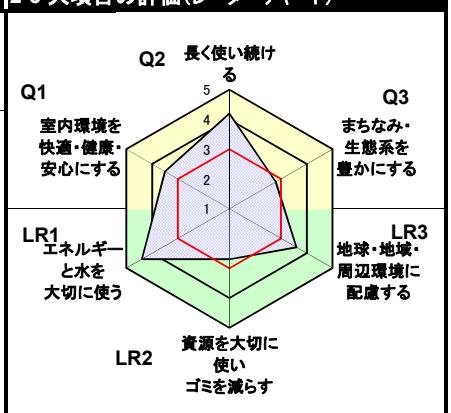
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

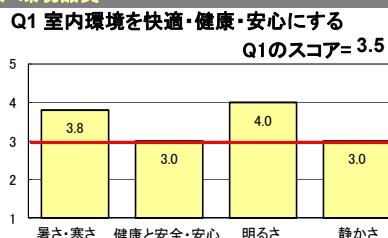


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

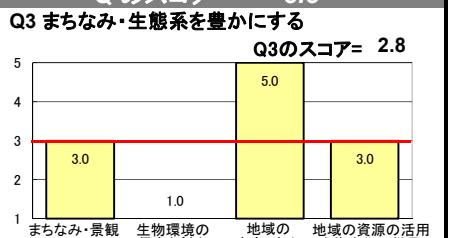
Q 環境品質



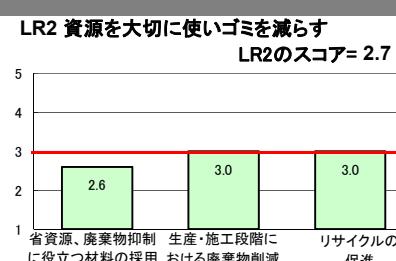
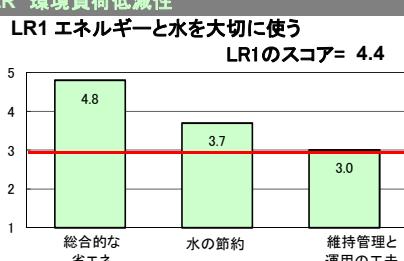
Q2 長く使い続ける



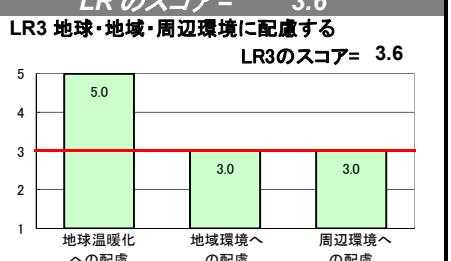
Q のスコア= 3.5



LR 環境負荷低減性



LR のスコア= 3.6



3 設計上の配慮事項

総合

- 長くお住まい頂くための性能を持たせ、さらに維持管理を行う環境を整えた
- 周囲の建物に調和する外観とした
- 大容量の太陽光発電の採用や、CO₂ヒートポンプ式給湯器を採用し、エネルギー消費量を抑える設計として温暖化への配慮を行った

その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

- 強化外皮採用
- 通風を考慮
- 特定建材は全てF★★★★★

Q2 長く使い続ける

- 構造耐力上主要な部分に用いる鋼材の防錆仕様は溶融亜鉛メッキを採用
- 屋根材はSUS製を採用

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

- 閑静な住宅地の為、閉鎖的な外構にはしないようフェンスは可視性のあるメッシュとして、適度な植栽計画を行い同時に過度な演出を控えた

LR1 エネルギーと水を大切に使う

- 太陽光発8.64KW
- 照明はLED
- CO₂ヒートポンプを採用

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

- 省資源に役立つ材料を採用

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

- 省エネにより地球環境を考慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_{H2}、LR_{H1}中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

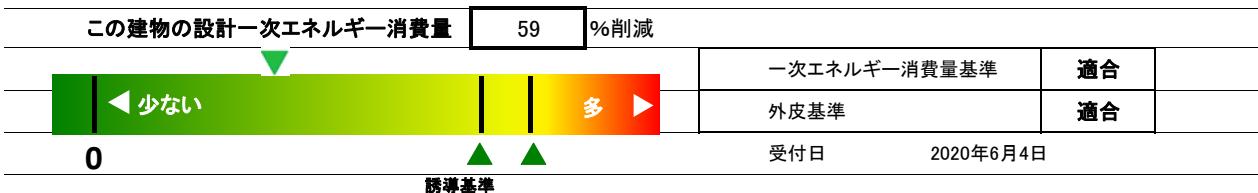
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①太陽光発電 8.64KW

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤「6-1ホルムアルデヒド対策」等級3

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧「3-1劣化対策等級(構造躯体等)」等級3、「1-1耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」等級3

⑨避難ルート確保、住戸への侵入計画、フェンスは全てメッシュを採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)



太陽光利用

蓄熱設備・蓄電池・

エネルギー・マネジメントシステム導入

HEMS

—

CASBEE® 横浜[戸建] | 評価結果 | 2-025



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

スコアシート	重点項目	評価点	重み係数	全体
配慮項目				
Q _H すまいの環境品質		-	-	3.5
Q _{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ		3.8	0.50	3.8
1.1 基本性能		4.2	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 (5)健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 (5)健康と安全・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 (7)災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ		4.0	0.10	4.0
3.1 屋光の利用		4.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
Q _{H2} 長く使い続ける		-	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能		4.2	0.50	4.2
1.1 軸体	防災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.3	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		4.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
Q _{H3} まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり (10)まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 (9)地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LR _H すまいの環境負荷低減性		-	-	3.6
LR _{H1} エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.4
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 軸体と設備による省エネ	省エネルギー性能 (1)建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 (2)設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.0	0.10	3.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	3.0	0.50	-
LR _{H2} 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	2.7
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.6	0.60	2.6
1.1 構造軸体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	-	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	1.00	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造軸体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造軸体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LR _{H3} 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.6
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-